

# 『たのしく たのしく 絵を描こう』

多田信作 著（黎明書房）

林 健造

今年から実施されている幼稚園教育要領では、絵を描くなどの造形活動は、領域「表現」の中で行われ、ねらいや内容が示されている。

表現では、豊かな感情を育てること、そのためにふさわしい環境を整えてやること、そして、子どもの発達の特性を大事にし、できるだけ子どもが主体的活動を重視していくことが述べられている。

幼児が何故幼稚園にやってくるのかを考えてみると、まず好きな人（先生）がいる。それと好き

な友だちがいる、それから好きな楽しいことができるということであろう。絵を描く活動も、その中の大きな一つであろう。

主体的活動とは、何を描くのかという課題（描きたい内容）も、その方法も、そこからの発展も幼児自体から発動するような姿が最ものもぞましいことであるが、つねに生き生きと自発的に活動するかというところではないことがある。

したがってあるときは、楽しい遊びや、材料ややり方を教師の方から提示していく援助が必要な

時がある。これがすぎると、教師先導型・やらせの活動になる。

この問題の解決に、大変参考になる本が生まれた。それがこの多田さんが出版した『たのしくたのしく 絵を描こう』という本である。

多田さんは、八年にもわたり実践研究してきた造形活動の中から、とても幼児達が喜んで活動したテーマを『水と友達になろう』などの六つのジャンルに分け、幼児の発達や、系統性もよく考えてあり、きつかけのひきだし方や援助の仕方・活動の要点が一目でわかる解説・そこからの自然な発展などを、豊富なイラスト入りで大変わかりやすく示されている。幼児が喜びの中で造形遊びが充実していくことはもちろん、援助している教師の方も楽しくなるし、造形活動のコツを教えられる本で、保育関係の皆様にごひおすすめしたい本である。

(十文字学園女子短期大学)



△目次▽

I たのしくたのしく遊びながら絵を描こう

1 絵を描くことは、絵と仲良しになることだ

2 絵はどんなところにも描ける

3 頭の中でも絵を描こう

II 水と友達になろう

1 池の中でオタマジャクシは毎日なにをしているの

かな

2 大きな沼の中では

3 海の中を探けんしよう

4 魚はどんな洋服がすきなのか

5 水の中で球根を育ててみよう

Ⅲ まわりにある形と友達になろう

1 どんな自動車に乗ってみたいかな

2 動物の足あとをたどっていくと

Ⅳ 花や根っこや土と友達になろう

1 タネからどんな芽が?

2 一本の苗木から、どんな花が咲くのかな

3 太った根っこ、細い根っこ

4 どうしてスイカはまるくなるのかな

5 リンゴはどんな生活をしているのかな

Ⅴ 虫と友達になろう

1 アオムシくん達は野原でどんな遊びをしているの

かな

2 野原の虫や小鳥達は菌をみがくのかな

3 バッタになって、たのしく遊ぼう

4 チョウにもきれいな洋服をさせてあげよう

5 カマキリにもきれいな洋服をさせてあげよう

6 アリくん達は毎日なにをしているのかな

Ⅵ 空をとぶ鳥や風船と友達になろう

1 小鳥になって空を散歩しよう

2 小鳥になって森を散歩しよう

3 ワシになって空をぐんぐんとんでみよう

4 風船が空にとんでいったら……

# 『あかちゃんの本箱』

原題 Babies Need Books